

9月 依存症家族勉強会のお知らせ

行動の見え方について（10） — 遅延報酬割引と選好逆転 —

8月3日、第9回ギャンブル問題を考える市民公開講座を開催しました。蒲生裕司先生においでいただき、「ギャンブルという行動を理解する」という演題で講演していただきました。後半にはGAに通いながらギャンブルのない生活を続けておられる当事者の方と、息子さんにギャンブルの問題があるご家族からとても貴重な体験談をお話していただきました。今回の公開講座の逐語録を作ることにしており、しっかり記録に残そうと考えています。

徳島・ギャンブル問題を考える 第9回市民公開講座

13:00~14:30
「ギャンブルという行動を理解する」
 講師：蒲生裕司（医療法人社団心晴会理事長）

14:45~15:30
当事者の話 家族の話
「当院におけるギャンブル依存症の治療について」
 講師：吉田博次（藍里病院依存症研究科長）

2024年8月3日(土) 事前申込必要 参加費無料
 13:00~15:30(開場 12:30)

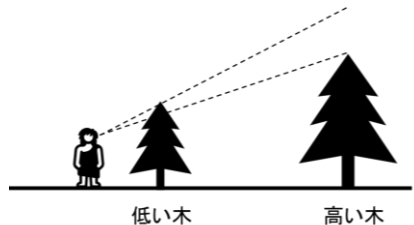
会場 藍里病院依存症研究所 研修ホール
 徳島県新野上 仮町 診療棟2B-3

QRコードから申し込み
 7月31日
 電話でのお申し込み：24時間受付
 088-944-9151(受付・夜間)

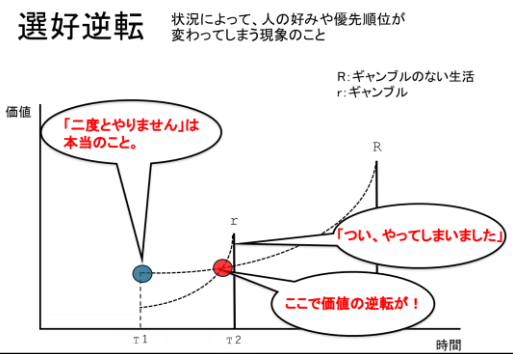
蒲生先生のお話から、連載中でもある行動の見え方について学び考えたことを書いてみます。

講演は「今日の一番のテーマは呪いをいかに払うかです」で始まりました。呪いとは『自己責任』でした。他の病気にかかるのと気の毒がられるのに、依存症だけは逆に自己責任だと言われ、責められる。これを蒲生先生は呪いだと言います。先生の専門である行動分析学から人間の行動を分析し、自己責任という見方がいかに的外れであるかをお話されました。「もう二度とやらないと誓ったのに、ついやってしまった」という行動はどうして起きるのか。これを「遅延報酬割引」と「選好逆転」という人間特有の行動の特

徴から説明されました。このことについて僕なりにかみ砕いて考えてみました。遅延報酬割引とは喜びの強さが時間の経過とともに弱まる現象のことを言います。近くにある木は低くても高く見えるのと同じ現象です。依存症はこの現象が極端に陥った状態だと考えます。でも、誰もが持っている傾向なのです。



喜びの強さを価値の高さに置き換えても同様です。下の図のT1の時点ではRつまりギャンブルをやらない行動の価値が、rつまりギャンブル行動の価値よりはるかに高いです。おそろなくかそうとう苦痛なことがあったのでしょうか。その時には本心で「二度とやらない！」と考えています。ところが、時間の経過とともにRの価値が下がり、rの価値(あるいはrによってもたらされるメリット)が高くなると、Rとrの逆転が起きます。するとr;ギャンブル行動が起きてしまいます。



人間はこうなってしまう生き物だと見たときに、ギャンブル行動を始めないためには何をすればいいかが見えてきます。選好逆転がどうすれば起きないか、という発想です。この視点がなければ「あれだけ誓ったのに、意志が弱い人だ」「あの約束はウソだったのか」となってしまいます。でもそうではないのです。(来月に続く)

家族勉強会Aについて 参加ご希望の方は、当院アディクション委員まで連絡いただくか、アンケート用紙にその旨を書いて郵送してください。参加できるかどうか折り返し連絡します。
 ※動画配信について 家族勉強会Aに参加できない方のために勉強会を録画しています。これまでと同じ形で配信します。

家族勉強会Bについて 参加ご希望の方は当院アディクション委員までご一報ください。

9月14日(土)AM10時~家族勉強会B(意見交換会) / 依存症研究所・研修ホール
9月28日(土)AM10時~家族勉強会A(講義) / 依存症研究所・研修ホール